

北川義信氏に旭日中綬章

「画期的だったビジョンづくり」

「父の姿をずっと見てきて、建設業界に入ろうと思ひ、会社を継ぎ、業界の発展のために尽くしてきた」と、受章を素直に喜ぶ。

県建設業協会の会長に就任した翌年、民主党政権が「コンクリートから人へ」のスローガンのもと発足。会長の初仕事として、地元の国会議員全員を招き、建設業界とこれからの公共事業について意見を聞いた。その場で、「石川県内に一つとして無駄な公共事業はありませんか」と伺った。全ての議員の方が『無駄な公共事業は無い』と答えられた。これは確認しておかないといけない事だった。建設業を営む人や社員の方に肩身の狭い思いをさせないよう、誇りを持てる立派

な仕事だと理解してもらいたかった」と懐かしむ。

14年には「いしかわの地域を支える建設産業ビジョン」を策定した。一般の県民や有識者と公開討論を行い、「建設業に対する認識や意見を吸い取った上で、どう行動すべきかを盛り込んだビジョンを作り上げた。これは画期的な取り組みだったと振り返る。

全国建設産業団体連合会会長、全国建設業協会前会長も歴任。「地域の実情を国に理解してもらうよう努めた」と話す。「地域の建設業が今の人員や機械を最低限維持し、自然災害への対応や除雪のためにきちんと存立して欲しい」と、将来に願いを込める。

きたがわ・よしのぶ 北川ヒューテック代表取締役会長。08年〜16年県建設業協会会長、12年〜16年全国建設産業団体連合会会長、14年〜16年全国建設業協会副会長。09年国土交通大臣表彰、11年黄綬褒章受章。76歳。



20年秋の叙勲受章者